

# そのメロディに魅せられて♪

## 電子悲劇／ニENOLA [+6]

97年に発表された、P-MODEL 11枚目のアルバムの再発版。オリジナルの11曲に加え、シングルとして発売された「ASHURA CLOCK」「LAYER-GREEN」から6曲が追加で収録されている。実はこのアルバム、発売当時に行われていたリスナー参加型企画『レイヤー・グリーン of 危機 - 議定書(プロトコル)を探せ-』という物語の一部であり、サウンドトラック的な内容となっている。物語としては病原体ENOLAに侵されたレイヤー・グリーンを救うプロトコルを探すためにP-MODEL号がCOLOR-0に向かう—と、ここまでの紹介を読んでも何やら良くわからない、と思う方が多いのではないだろうか。紹介文を書いている私も詳細は把握できていない。残念ながらオリジナル版

## P-MODEL K1E08677 篠崎所蔵

が発売された当時は、まだP-MODELの存在さえ認識していなかったからだ。当時はこのCDを含むいくつかの音源が発売され、ライブイベントやCD-EXTRAを使用したデータ上での謎解きに加え、さらにバリ島での探検ツアーも行われたという。とはいえ、背景に隠された稀有で壮大で奇妙な物語を知らなくても、その独特な世界観に魅せられ、惹き付けられる力がこのアルバムにはある。疾走する電子音、乱高下するヴォーカル。時にエキゾチックさを感じさせるメロディ。それらによって紡がれる奇妙で不可思議な物語。是非一度皆様にも体感していただきたい。それぞれの楽曲の詳細は割愛するが、一度その世界に触ればきっとその虜となる事だろう。

# スタッフのセレクション!

## 警視庁公安部外事課

ある日、ラジオに元公安警察官の勝丸円覚氏がゲスト出演していた。勝丸氏は去年話題となったドラマVIVANTの監修を務めていたため興味深く聴き入り、彼の本を読んでみたくなった。

日本はとても平和な国だ。だが、その平和を保とうと裏で活躍している人たちがいることに気がついているだろうか。彼らの仕事は事件が表面化する前に処理をすること。なんともありがたい存在だが、人から感謝されることはまずない。そんな謎が多い公安の仕事が、伝えられる範囲で紹介されている。

公安と言えば、戦前の特高、学生運動時の過激派取り締まりなどの怖いイメージを抱く一方、スパイ映画などの影響からかっこいいと思う方もいるのではないだろうか。

## 勝丸 円覚著 光文社 317カ 篠崎ほか所蔵

しかし実際はとても地味な活動をしているらしい。自分が公安であること、どんな捜査をしているかは身内にも知られてはならず、辛抱・我慢・忍耐を強いられる仕事だと。

勝丸氏が所属していた「外事警察」では、外国の大使や外交官などとやりとりがあるとのこと。彼らとどんな駆け引きをしているのか、スパイ天国と言われる日本で国益を守るためどのように働いてくれているのか——。興味深い話の数々は、淡々と語られているがとてもドラマチックな内容である。

陰ながら、身を粉にして働いている存在に、目を向けるきっかけとなる一冊。



### 編集後記

春はあけぼの。清少納言のように季節を楽しめる人になりたいです。(風雲ふわふ丸)／春って本当に眠い…(ぱるめりん)／春物を買って、お洒落したい。(すずの木)／新年度スタート。生活に気分の上がる色を取り入れていきたいですね。(卯月)

編集・発行：江戸川区篠崎図書館  
住所：〒133-0061 江戸川区篠崎町7-20-19  
しのぎ文化プラザ内  
TEL:03-3670-9102  
[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ  
<https://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>

▶X旧ツイッターやってます!



## 図書館報

# ぷらっつ

# 篠崎

81号/2024年4月1日発行(季刊)



篠崎図書館館長が感じたことなどを記します。

コンタクトレンズから眼鏡に変えて30年近くになり、すっかり眼鏡が顔の一部になっています。眼鏡を選ぶのにはコツがいりますが、私は自分では選ばず、もっぱら眼鏡屋さんに依存しています。

私が行っている店は、基本的に客が眼鏡を選ばせません。眼鏡をかけた自分の顔を想像するのは難しいから、選択はプロに任せてくれと言うのです。

以前、上司をそこに連れて行ったことがあります。彼は眼鏡屋さんが選んだ眼鏡

と自分が選んだ眼鏡を両方買いたいと言ったのですが、眼鏡屋さんが選んだ1本しか売ってもらえませんでした。どうせその眼鏡しかかけなくなるから無駄だと言うのです。結局彼は、その1本を気に入り、眼鏡屋さんが言ったとおりになったのですが。

私はおしゃれな眼鏡をかけているねと言われることがあります。おしゃれなのは私ではなく眼鏡屋さんのおかげです。

## 江戸川まいにんぐ 発掘 第80回 葛西学校

江戸川区内のイベントやスポットについてスタッフが調査して身近な情報をお届けする地域密着型のコーナーです。

新年度がスタートしました。今回は時代を遡って、区内最初の公立小学校にスポットを当ててみました。

江戸川区に初めて公立小学校ができたのは明治9年(1876)です。「葛西学校(現、松江小学校)」が、現在の東小松川3丁目の善照寺を借りて開校しました。

それまで庶民の教育機関は寺子屋や家塾(かじゅく)でした。明治5年(1872)、学制の公布により、初等教育が重視され、国民すべてが小学校に就学することを定められました。全国的な小学校建設が開始され、東京府内にも順次公立小学校が設置されるようになります。

しかし江戸川区域では直ちに公立小学校が設置されたわけではありませんでした。これは戊辰戦争(1868~1869)における市川との戦いや、農作物の凶作による影響ではないかといわれています。村々が疲弊し、学校の設立まで考えるゆとりがなかったと考えられています。

そして明治9年(1876)10月5日、ようやく「葛西学校」が江戸川区における公立小学校の第1号として開校しました。東京府第六中学区内(江東、墨田、葛飾、江戸川)では20番目の開校でした。校名は江戸川区域にあたる「葛西領」「葛西庄」等にちなんでとったものと推測

されています。教員は3人、生徒人員は106人(内 男81人 女25人)として設立伺書が提出されています。学制の原則により、学校の設立維持費は民間負担、授業料も有償であったため村民の負担は大きかったようです。当時一町村の資力では学校の設立は極めて難しいことで、「葛西学校」の誕生は江戸川区の教育史の上に重要な足跡を残しました。

「葛西学校」はその後、明治36年(1902)に西江小学校と統合、「松江尋常高等小学校」となった後、昭和22年(1947)に現在の「松江小学校」となりました。

約150年前にお寺を間借りして始まった小学校は、現在充実した授業内容はもちろんのこと、屋上の緑化や、吹き抜けのある廊下にオープン型の教室などデザイン性に優れ、省エネにも配慮した学校として子供たちが伸び伸び学べる環境となっています。これから150年後の小学校はいったいどのようなになっているのでしょうか。

### ○参考文献

- 『江戸川区の小学校のあゆみ』江戸川区教育委員会事務局教育推進課文化財係編 K1-37 篠崎ほか所蔵
- 『江戸川区史』江戸川区区史編集室編 K1-21 篠崎ほか所蔵

# お洒落

おしゃれの「洒(しゃ)」  
って「酒(さけ)」じゃ  
ないのよ～



ええっ!?



## 魔法のクローゼット

くぼしまりお著  
KADOKAWA  
589ク  
篠崎ほか所蔵

児童文学作家・角野栄子さんの娘、くぼしまりおさん。角野さんの服を彼女が選んでいます。コーディネートをする中で培ってきた、服色の組み合わせや笑顔をもたらす小物使いなどを伝授してくれます。本書を読めば、角野さんのおしゃれの秘密がわかるかも。



## とわの文様

永井 紗耶子著  
KADOKAWA/角川文庫  
BFナ  
篠崎ほか所蔵

江戸西河岸町にある呉服屋の看板娘・十和。面倒事を背負い込む名人の兄・利一。利一が持ち込む様々な事件を十和は家族や仲間と一致団結して解決します。着物の文様が物語の鍵になっていて、着物の蘊蓄も学べます。兄妹の掛け合いに心が和みました。



## 世界の愛らしい子ども民族衣装

エクснаレッジ  
383.1セ  
篠崎ほか所蔵

世界88か国、131点の民族衣装を着た子供たちの写真集。雪山をバックに羊の骨をかじるキルギス人の少女、ラクダの手綱を握りしめて座るトゥアレグ族の少年など、1枚の写真にその土地や民族の魅力が詰まっている。衣裳はもちろん、子供たちの輝くような笑顔が美しい。



## ファッションショー招待状図鑑

イアン・R. ウェブ著  
河村 めぐみ訳  
トゥーヴァージンズ  
589ウ  
篠崎ほか所蔵

70年間に開催された300ものファッションショーの招待状を、デザイナーやショーのエピソードと共に紹介。美しいカードのみならず、バンダナや金属プレート、真っ黒い電球なんていうものも。こんな招待状が届いたら、どれだけワクワクしたことでしょうか。



## おうちで楽しむためのアフタヌーンティー LESSON

メイツユニバーサル  
コンテンツ  
596.7オ  
篠崎ほか所蔵

クロスの掛かった丸テーブルに紅茶とスコーン……優雅ですね。この本にはティーバックを気軽に美味しく飲むコツから、紅茶を極める方法まで紅茶を楽しむための情報が詰まっています。お気に入りの紅茶と美味しいお茶菓子、素敵な茶器で気軽にアフタヌーンティーを楽しみましょう。



## 贅沢貧乏のお洒落帖

森 茉莉著  
筑摩書房  
B914モ  
篠崎ほか所蔵

著者は森鴎外の娘。幼い頃から舶来品に触れ、パリに留学し、オシャレへの興味を晩年まで持ち続けた洒落者です。野暮ったさを嫌った彼女の文章は時に辛辣ですが、事細かに描写された衣装やアクセサリの数々から、当時の「お洒落」が垣間見える一冊となっています。



## はじめての万年筆とインクの本

mizutama著  
エクснаレッジ  
589ミ  
篠崎ほか所蔵

幼い頃から憧れていた万年筆。敷居の高いイメージもありましたが、自分の相棒だと思って使用すると愛着も湧くもの。本書を読んで一番助かったのは、愛する万年筆のお手入れ方法が書かれていた事です。お気に入りの一本、お気に入りの一色を探すきっかけになります。



## ミセス・ハリス、パリへ行く

ポール・ギャリコ著  
亀山 龍樹訳  
KADOKAWA/角川文庫  
B933キ  
篠崎ほか所蔵

ロンドンの家政婦ハリスおばさんは、顧客の家で見たディオールのドレスにすっかり魅了されてしまいます。儉約のすえ、ドレスを買いにパリに降り立ちますが……。茶目っ気のあるハリスおばさんの活躍が楽しい一方、少しせつなさも残る物語です。



## 手持ちの服でなんとかなります

杉山 律子著  
サンマーク出版  
589ス  
篠崎ほか所蔵

何を着よう？ どれを合わせよう？ 毎日の服選び、しんどくなることありませんか。選ぶ服が、いつもワンパターンになってしまったり。本書ではそんな悩みを解消する着こなしのコツを紹介。主役服と脇役服のバランスや、ネックレスとトップスの相性など……。自分の服がなぜ合わせにくいかわかりました。



## 「飾る」をカエテミル

川上 ユキ著  
大和書房  
597カ  
篠崎ほか所蔵

ふたり暮らし、ひとり暮らし、ファミリー、実家暮らしという4組のお家が、「飾る」ことからおしゃれで心地よい空間に変わっていきます。その理論もとてもわかりやすい。すぐに実践できるアイデアが満載で、試してみたい「カエテミル」がきっと見つかります。